

**市長、北九州市が財政危機
という認識を修正**

まず、財政危機については従前より私も訴えてきましたが、本市は財政危機ではありません。このことについて市長は本会議で、「財政は油断できない状況にはあるが直ちに破綻するような状況ではない」との発言があり、北九州市が財政破綻寸前の認識を改めました。

また、今議会で提示された予算についても、一般会計は過去2番目の規模（コロナ禍を除けば過去最大）対前年比3.1%増の6,278億8,300万円、市債発行額も対前年度比で10%増え、過去最大の市債残高となりました。結果として市长自らが財政悪化に舵を切つていています。

**令和6年度の予算を審議する、
2月定例会が開催**

武内市長が就任し、3,000ある市の事務事業見直しを行った結果として令和6年度予算が提示されました。市長選挙での訴えであった財政危機を前提とした事務事業の見直しや、既得権の見直しが踏まえ、また新たな長期構想である新ビジョンに基づいた予算ということです。様々な議論が行われました。

市長は「財政危機!!」と言っている中での予算編成のはずなのに、総額と市債は増加！

令和6年度 新年度予算

**大久保むが
市政レポート
かわら版**

第五十八号

北九州市八幡西区則松二一六一
TEL 〇九三一九八〇一六八〇六
FAX 〇九三一九八〇一六八〇七
<https://www.mugamuga.net/>
E-mail yahatanishi@mugamuga.net



一大久保むが事務所

議会史上初めての“修正動議”が提出される

1 令和6年度当初予算案の規模等			(単位:百万円、%)	
	令和6年度	令和5年度	差引(R6-R5)	
			金額	伸率
一般会計	627,883	609,161	18,722	3.1
特別会計	422,190	421,229	961	0.2
企業会計	283,658	272,499	11,159	4.1
合計	1,333,731	1,302,889	30,842	2.4

令和6年度の一般会計予算額は、中小企業融資（▲70億円）などが減少する一方、新日明工場建設事業（ゴミ焼却工場）などの投資的経費（+129億円）や物価高騰対応重点支援給付金事業（+97億円）が増加したことなどにより、前年度比187億円（+3.1%）増の6,279億円であり、過去2番目の規模となっています。



北九州市の人口を100万人に、
という道筋を具体的に示すことは
できない、と市は見解を示す。

市長選挙で訴えていた、市の人口100万人復活を目指すという武内市長の公約について、議会でも具体的にどのよう

手法で人口100万人を目指すのが、多くの議員から質問が上がっています。

この2月定例会で2040年に市の人口はどのくらいになる見通しなのか、と

いう質問に対し、具体的な道筋や人口の増加は社会経済情勢などの外部要因により左右されるものだと、これまでの主張とはかけ離れた答弁となり、公約をことごとく訂正している状況になっています。

**本当に財政危機ならば
このような予算編成はできない**

**新型コロナ禍で国からの大規模な
給付金や助成金などが増大した
時期を除けば”過去最大”的予算！**

昨年12月に行われた人事院勧告による市職員の給与引き上げをはじめ、市債の増加、最大規模の予算編成を行っています。本当に財政危機であれば、財政危機宣言を行い、人件費の削減やあらゆる公共サービスを取りやめなければならず、今回のような過去最大の予算編成は不可能なのです。

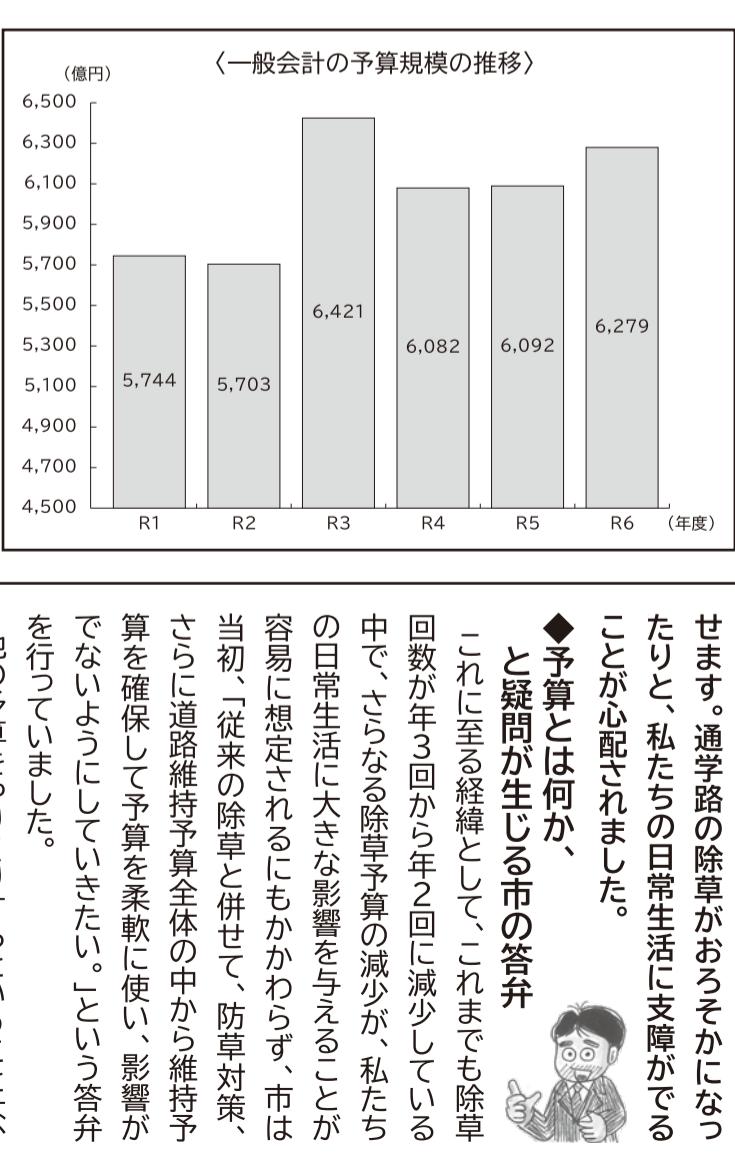
**市民生活の安心安全を犠牲にした
「稼げるまち」などあり得ない**

しかし一方で、今議会では市による事務事業の棚卸しにより、多くの事業予算

が削減されました。この中で市民生活に直結する予算の削減もたくさん行われ、議会としても看過できない部分については本会議、予算特別委員会などでたびたび指摘してきました。

**◆予算とは何か、
と疑問が生じる市の答弁**

これに至る経緯として、これまでも除草回数が年3回から年2回に減少している中で、さらなる除草予算の減少が、私たちの日常生活に大きな影響を与えることが容易に想定されるにもかかわらず、市は当初、「従来の除草と併せて、防草対策、さらに道路維持予算全体の中から維持予算を確保して予算を柔軟に使い、影響がないようにしていきたい。」という答弁を行っていました。



他の事業へのしづ寄せが及ぶと囁つてゐるに等しいと考えられます。

また、防草対策については、これまで行ってきた中央分離帯をコンクリート化するという取り組みなのですが、私たちが懸念しているのは歩道や公園など、市民生活に直結する部分での除草に関する予算が削減されたことに對しての懸念です。

ましてや、歩道部分はもともとアスファルトでしっかりと防草されているのです。が、その隙間から毎年雑草が大きく育つということで、多くの相談が寄せられています。

公園・道路・河川に関する除草予算の大額減額に議会が反発

例えば道路や河川・公園等維持管理事業に関わる予算では、除草作業にかかる費用が約1億7,000万円削減されました。公園や歩道などの除草回数を減らしたり放置し続けることは、市民生活に深くかかわる場所での公衆衛生を悪化させます。通学路の除草がおろそかになつたりと、私たちの日常生活に支障ができることが心配されました。

**◆予算とは何か、
と疑問が生じる市の答弁**

これに至る経緯として、これまでも除草回数が年3回から年2回に減少している中で、さらなる除草予算の減少が、私たちの日常生活に大きな影響を与えることが容易に想定されるにもかかわらず、市は当初、「従来の除草と併せて、防草対策、さらに道路維持予算全体の中から維持予算を確保して予算を柔軟に使い、影響がないようにしていきたい。」という答弁を行っていました。

他の事業へのしづ寄せが及ぶと囁つてゐるに等しいと考えられます。

また、防草対策については、これまで行ってきた中央分離帯をコンクリート化するという取り組みなのですが、私たちが懸念しているのは歩道や公園など、市民生活に直結する部分での除草に関する予算が削減されたことに對しての懸念です。

予算編成は、市民からさまざまなお望みがあつて、必要な事業を想定して予算を編成しているのですから、予算審議の段階から他の事業にしわ寄せを及ぼすような予算編成はそもそも間違っているのではないかと考えられました。

その後も予算特別委員会では市側は同じような答弁を繰り返したため、残念ながら確実に除草に関する予算が確保される見通しが示されなかつたことから、北九州市の議会史上はじめての本予算に対する修正動議が提出されたことになりました。

これを受けて市は、6月に補正予算を提出することを約束し、予算不足で除草ができないという事態は回避されることになりました。

旧門司駅の遺構の取り扱いをめぐり、52年ぶりの動議提出

2月定例会では、本予算の審査前に、補正予算の審査が行われました。

この補正予算の中に、門司港で発掘された旧門司駅の遺構の取り扱いをめぐり、市長が記者会見で「遺構を一部切りだして保存したことと複合公共施設を進める」とを表明した予算2,000万円が含まれています。

しかし、「この遺構の歴史的な価値をめぐり多くの専門家から市の対応に対して疑問が呈されているにもかかわらず、なぜ市が遺構を一部移築することになつたのかの経緯を明らかにしませんでした。私が行つた議会での質問に対しても、結構の価値を判断するのに勘違いしていました。

これでいいのか?!多くの文化事業が廃止される

令和6年度予算では、事務事業の棚卸によつて多くの文化事業が廃止されています。

美術鑑賞アートミュージアム事業、平和のまちステディツアーや、市立美術館分館の廃止、北九州市文学サロンの閉館などがその代表事例です。とりわけ私が所属する教育文化委員会では、小学校3年生が北九州市立美術館を訪れ、本物の芸術を見て学ぶ「美術鑑賞ミュージアムツアーアクティビティ」事業が事業廃止となりました。

このままではと考へます。



わがまち点検隊

あなたのまちの困ったことや、なぜだろう？どこに相談したらよいだろう？と思うこと。お気軽にお知らせください。調査致します。

ご意見記入例

- ★ ○○町の○○公園の公衆トイレが壊れている。
- ★ ○○町の交差点の交通量が多く、横断しづらい。
- ★ ○○町●番の△△さんの家の前の街灯が切れている。
- ★ ○○町のT字路にカーブミラーがなく、車で曲がりにくい。
- ★ 大雨のときに水たまりができ、車が水をはねて歩行できないなど

↓こちらよりご意見お願いします

あなたの街の困ったことや、なぜだろう？と思うことを、お気軽にお知らせください。スマートフォンでQRコードを読み取って、記入フォームから送信できます。



街かどカイゼン通信

この交差点から北九州市を変えよう！
歩車分離を要望しています。

折尾駅前の学園大通りと交差する折尾4丁目交差点は、通勤通学の歩行者や自転車、駅への送迎の車、またこの通過する車両が非常に多く、道路事情が良くなっています。

そのため、歩行者が多い時間帯は車右左折がしにくく、また勢いよく自転車が走っていることもあります。

こうした状況を鑑みた時に、歩行者などの安全性向上を図り、自動車の通行も円滑にすることができないかと考え、この交差点での歩車分離の可能性を現在各方面に対して要望を行っています。

また同交差点では道路へ雨水がたまり、車の通行で歩行者へ水はねが発生していますので、当面の改善も求めています。

北九州市議会議員 大久保むがプロフィール

平成6年福岡県立北筑高等学校卒業。平成10年九州国際大学国際商学部卒業後、平成12年から元衆議院議員・北橋健治氏の秘書に。その後、さらなる政治の勉強をするため、平成18年北九州市立大学・法学研究科に入学、政策科学を学ぶ。勉学のかたわら、参議院議員・大久保勉氏の秘書を平成19年まで務める。平成20年3月、北九州市立大学・法学研究科を卒業。同時にヘルパー2級取得。平成21年北九州市議会議員に初当選、総務財政委員会に所属。2期目前半に環境建設委員長に就任。3期目の前半に教育文化委員会。現在は経済港湾委員長。「国民民主党」「立憲民主党」の合流に参加せず現在は無所属。NPO法人「KID's Work」スタッフ。

大久保むが事務所

〒807-0831 北九州市八幡西区則松二丁目6-6 Tel 093-980-6806 Fax 093-980-6807
<https://www.mugamuga.net/> E-mail yahatanishi@mugamuga.net



今号の1枚



取り組んできた「技能グランプリ全国大会」の誘致が今年の2月に実現しました！